文化生活・教育常任委員会　議事次第

令和７年６月25日（水）
午後１時30分～
於：第４委員会室

１　開　　会

２　所管事項

３　閉会中の継続審査及び調査

４　今後の委員会運営

○　閉会中の常任委員会
日　　時：令和７年８月22日（金）　午後１時30分～

○　管外調査
日　　程：令和７年７月29日（火）～30日（水）

５　その他

６　閉　　会

文化生活・教育常任委員会　送付陳情一覧表

令和７年６月定例会

受理番号	受理年月日	件　　　　　　　　名
322	R7. 6. 9	選択的夫婦別姓に関する陳情

陳情又は要望に関する文書表

受理番号	第　　３２２　　号	受理年月日	令和７年　６月　９日	送付委員会	文化生活・教育常任委員会
陳情者					
件　　名	選択的夫婦別姓に関する陳情				
要　　旨					

私たちは、選択的夫婦別姓制度の導入に反対する。現在の夫婦同姓制度を維持し、旧姓の通称使用を拡充することで、必要な柔軟性を確保することを推奨する。

ついては、日本の家族の絆と伝統を守るため、選択的夫婦別姓に以下の理由により反対し、旧姓使用拡充の法整備を国に求めるよう陳情する。

１　家族の一体感と絆の維持及び子どもへの影響

家族が同じ姓を持つことは、一体感や絆を強める重要な要素である。多くの日本人は家族の一体感を大切にしており、同姓を希望している上に、産経新聞が独自に実施した小中学生2,000人を対象とした調査に関し、約６割が同姓を希望していた。また、賛成でも反対でもなくどちらでもという場合においても夫婦同姓を選ぶとしている。子どもが両親と異なる姓を持つことで、学校生活や社会的な活動において混乱を招くことが懸念される。また、子どものアイデンティティに影響を与える可能性もある。（2025年１月１日産経新聞記事参照）

２　社会的な混乱と行政手続きの複雑化

夫婦別姓が認められると、社会全体における人々の認識やコミュニケーションに混乱を招く可能性がある。例えば、兄弟間で名字が異なることにより、学校等のコミュニティ内で興味本位に色々と聞かれたり、からかわれたり、また、行政関連及び法的な手続きが煩雑になる。姓が異なることで戸籍管理、税務、健康保険、相続など、様々な行政手続きが複雑になり、社会全体の負担が増大す

る。海外でも兄弟が名字が異なるケースはまれな事なのでデータや統計は特に見つからないのが現状である。

３　日本の伝統的な家族制度の尊重

日本の家族制度は、伝統や文化の継承にも大きく寄与している。家族を通じて、祭りや行事、食文化などが次世代に伝えられていく。夫婦同姓はその一部である。選択的夫婦別姓制度は、この長年の伝統と文化を破壊することになる。

（案）

令和７年　月　日

京都府議会議長　荒　巻　隆　三　殿

文化生活・教育常任委員長　岡　本　和　德

閉会中の継続審査及び調査要求書

本委員会に付されている事件は、下記の理由により、引き続き審査及び調査を要するものと認めるから、京都府議会会議規則第75条の規定により申し出ます。

記

１　件　　名

(1) 文化芸術、スポーツ及び生涯学習の振興について

(2) 私立学校の振興及び京都府立の大学の整備について

(3) 府民の安心・安全の確保に関する対策について

(4) 府民生活の向上に関する対策について

(5) 教育の振興について

(6) 文化財保護について

２　理　　由

審査及び調査が結了しないため

行催事等に係る委員会調査一覧表（案）

文化生活部

行催事等名	主催者名 （招待者名）	会　場 （市区町村名）	日　時
アニメ「鬼滅の刃」全集中展 ―刀鍛冶の里編・柱稽古編― 特別内覧会	京都府、京都府京都文化博物館、 関西テレビ放送、京都新聞	京都府京都文化博物館 （京都市中京区）	令和７年７月17日（木） 午後３時30分～５時
第５回「古典の日文化基金賞」授賞式	古典の日文化基金賞顕彰委員会、 古典の日推進委員会、 公益財団法人京都文化交流 コンベンションビューロー	京都コンサートホール （京都市左京区）	令和７年９月３日（水） 午後１時～３時55分

文化生活部、警察本部

行催事等名	主催者名 （招待者名）	会　場 （市区町村名）	日　時	
令和７年夏の交通事故防止府民運動 スタート式	京都府交通対策協議会、宮津市、 京都府警察本部	みやづ歴史の館 （宮津市）	令和７年７月18日（金） 午後１時30分～２時15分	※

※委員会調査として位置づけを決定済